

事業所名

ほたて

支援プログラム

作成日

R6

年

7月

12日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の特性理解に努め、一人一人に合わせた療育的な支援を行います。 ・将来の生活や就労を見据え、スキルアップを目指し取り組んでいきます。 ・愛し愛される子どもを育むために地域交流や人とのコミュニケーションを大切に、活動していきます。 					
支援方針		子ども達一人ひとりの個性を尊重し、子ども達の行動を肯定的に捉えながら、自己肯定感を育みます。					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	○あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	掃除や調理など日常生活に必要な能力の養成、 ソーシャルスキルトレーニング（SST）やコミュニケーションスキルの向上を目指すための活動を行います。					
	運動・感覚	創作活動や運動活動を行います。例えば、Tバッティングでは、固有感覚（身体の各部分の位置や動きの把握）前庭感覚（スイング中や打つ瞬間の姿勢を保つ能力）視覚と運動の協調（目でボールを確認しながら手でバットを振る）などの感覚向上を目的としています。その他にも、裁縫や歌、絵を書く、サッカー、キャッチボール等					
	認知・行動	お子様の特性に合った教材や学習方法を用いながら、学校の勉強や宿題のサポート等を行います。例えば、英語が苦手な子には、好きな漫画のセリフを用いて問題を作成し、興味を持てるように工夫しています。					
	言語 コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニング（SST）、アサーショントレーニングを通じて、コミュニケーションスキルの向上を教材やロールプレイを行いながら目指します。例えば、他者との距離感、言葉の意味を調べ類似語などを探していくゲーム、『ごめんなさい』『ありがとう』の練習等					
	人間関係 社会性	レクリエーションや行事を通じ、違う学校の子や学年の子、外部講師などの大人との関わりを通じて、社会性を学びます。ソーシャルスキルトレーニングで、場面に合った行動やトラブル時の対処について学びます。					
家族支援		お子様が事業所に通っている間、普段お子さんと関わる家族が一時的に休んだり、リフレッシュできる機会を提供したりします。お子様に関わるご相談にも随時対応していきます。			移行支援		事業所を卒業する場合や、複数事業所を利用の場合に、関係機関と情報を共有し、お子様が安心して過ごせる様に対応します。
地域支援・地域連携		社会経験や生活経験が豊かになるよう、地域交流を積極的に行います。例えば、町内会行事の参加や手伝い、市内イベントへの参加、外部講師を招いての教室等。また、研修会講師の依頼も受け、啓発活動を行います。過去には、子ども食堂スタッフに向けた発達障害についての研修講師や、共生社会を目指す研修会でのアドバイザー、関係団体が集まる場での不登校児支援についての発表等を行いました。			職員の質の向上		社内研修、外部研修に参加し、支援方法や虐待について、ビジネスマナー、災害対策等について学びます。また、研修以外にも福祉関連のニュースや情報などを回覧して質の向上を目指します。
主な行事等		町内行事への参加（新年餅つき行事、夏祭り等）、プログラミング教室、生け花教室、登山、果物狩り、焼肉、イースポーツ大会等					